



D.I. 質問箱

Q56

免疫電気泳動の「抗ヒト全血清による同定」と「特異抗血清による同定」との使い分けについて教えてください。

A56

1. 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

- ①タンパク分画では、解析が困難である個々のタンパク異常が観察可能。
- ②M タンパクの存在の確認、血清中の ALB、各グロブリン分画に存在するタンパクの欠損や判定量が必要な場合。

2. 免疫電気泳動(特異抗血清による同定)

- ①抗ヒト全血清による同定のような全体的な血清タンパクの評価はできないが、目的とするタンパクに関しては詳細な解析が可能。
- ②M タンパク血症の同定・精査が必要な場合。
- ③抗ヒト全血清で特定のタンパクに異常症の疑いがある場合。

お問合せ：学術データインフォメーション (D.I.) 課まで
0120-14-8734 (フリーダイヤル) / 082-247-4325 (ダイヤルイン)



きやつちボール

ある日、帰宅すると家族が“一匹”増えていました。傍では先輩のラブ(10才)が迷惑そうな顔をしていました。目がどこにあるかわからない真っ黒な“仔犬”はところかまわずオシッコをしていました。名前はブレーブ(Brave=勇者)と決まり、妻は毎日自分の子供のように抱っこをし、「この子が死んだら生きていけない」と訳の分からないことを言うております。市医師会のHさんにこの話をしたら、Hさんの知り合いのおばさんは、ご主人が亡くなったときは一粒の涙も流さなかったのに、愛犬が死んだときは5日間泣き通しだったそうです。私も恐らく同じ運命をたどるでしょうが(笑)、勇者(ブレーブ)の様に立ち向かっていきたいと思う今日この頃です。

松本 道雄 (広報委員)

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤

